

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公表番号】特表2006-519866(P2006-519866A)
【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)
【年通号数】公開・登録公報2006-034
【出願番号】特願2006-509055(P2006-509055)
【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/12	(2006.01)
A 6 1 P	17/16	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/4375	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
A 6 1 K	31/437	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00
A 6 1 P	35/00
A 6 1 P	17/00
A 6 1 P	17/12
A 6 1 P	17/16
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	9/107
A 6 1 K	9/06
A 6 1 K	9/12
A 6 1 K	45/06
A 6 1 P	37/02
A 6 1 Q	17/04
A 6 1 K	31/4375
A 6 1 K	31/4745
A 6 1 K	31/437

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

UV誘発性の表皮の新生組織形成に対して被検者を保護する方法であって、UV誘発性の表皮の新生組織形成に対する保護を提供するのに有効な量のIRM化合物を被検者に投与することを含む方法。

【請求項2】

UV誘発性の表皮の新生組織形成に対して被検者を保護するための医薬組成物の製造における、IRM化合物の使用。

【請求項3】

IRM化合物と、
日焼け止め剤と、
を含む組成物。

【請求項4】

IRM化合物と、
化粧品と、
を含む組成物。